



令和9年3月期 第1四半期決算短信 (日本基準) (連結)

令和8年8月7日

上場会社名 アプライド株式会社
コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
(氏名) 岡 義治
(氏名) 山口 圭介
TEL 092-481-7801

(百万円未満切捨て)

1. 令和9年3月期第1四半期の連結業績 (令和8年4月1日～令和8年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
9年3月期第1四半期	11,002	13.3	645	14.0	659	14.9	440	11.2
8年3月期第1四半期	9,712	△1.3	566	19.4	574	20.2	396	22.8

(注) 包括利益 9年3月期第1四半期 444百万円 (11.5%) 8年3月期第1四半期 398百万円 (22.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
9年3月期第1四半期	163.07	—
8年3月期第1四半期	146.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
9年3月期第1四半期	21,794	14,136	64.3
8年3月期	21,976	13,908	62.7

(参考) 自己資本 9年3月期第1四半期 14,013百万円 8年3月期 13,787百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
8年3月期	—	50.00	—	80.00	130.00
9年3月期	—	—	—	—	—
9年3月期 (予想)	—	30.00	—	70.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和 9 年 3 月期の連結業績予想 (令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,100	0.2	3,250	△5.3	3,300	△4.9	2,150	△5.2	795.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

9年3月期1Q	2,703,200 株	8年3月期	2,703,200 株
---------	-------------	-------	-------------

② 期末自己株式数

9年3月期1Q	355 株	8年3月期	355 株
---------	-------	-------	-------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

9年3月期1Q	2,702,845 株	8年3月期1Q	2,702,915 株
---------	-------------	---------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、東欧・中東情勢の長期化懸念などの地政学的要因に加え、A I 市場の加速に伴う経済構造の変化や各国の資源政策の転換などにより、依然として不透明な状況が続きました。

I T 業界では、A I 関連投資の拡大を背景に部材価格の高騰が続き、製品価格の見直しが迫られる環境にありますが、A I ・ I T 活用へのシフトは活発で、設備投資の拡大を受け企業の I T 投資は底堅く推移しました。

このような環境下、当社グループは需給バランス等のリスクを踏まえつつ、全事業部で環境変化への対応を進めました。I T 事業では、A I をはじめとする高度な研究開発環境を支える高性能・高耐久パソコンの開発・販売、各種データ関連ソリューションや保守サポートの提供を通じ、専門性を活かした営業展開により顧客基盤の拡大に努めました。

また、6月末には東海北陸地区6店舗目となるアプライド豊田店をオープンし、専門性を打ち出した製品ラインナップにより個人から法人まで幅広く対応できる差別化店舗として運営を開始しました。仙台に続く全国28店舗体制となり、全国での認知度向上を図りました。

大学向け販売を主軸とするS I 営業では、各エリア拠点による機動的な訪問活動を通じ、HPC製品（High Performance Computing）を中心に大学研究機関への提案販売を強化しました。

B to B 販売を中心とする外販営業では、省力化・効率化ニーズの高まりを受け、オンライン・オフラインのセミナーを積極的に開催し、新規案件の獲得に加え、独自の顧客管理システムを活用した深耕営業を推進しました。

化粧品・雑貨専門店「ハウズ」は、九州および愛知で計5店舗を展開し、独自開発商品の拡充やイベント開催を通じて来店者数の増加と収益性向上に取り組みました。

出版・広告事業を手がける「株式会社シティ情報ふくおか」では、SNS・動画等のデジタルコンテンツ制作の専門部署を新設し、紙媒体とデジタルを組み合わせた発信力の強化により、自社イベントの活性化と行政・自治体との地域連携事業の拡大を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は110億2百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益は6億45百万円（前年同期比14.0%増）、経常利益は6億59百万円（前年同期比14.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億40百万円（前年同期比11.2%増）となりました。

セグメントごとの売上高は次のとおりです。

パソコン・ゲーム事業は、「A I の日常化に挑戦する会社」直販型メーカーを目指し、アプライド豊田店出店による商圈拡大を進め、高機能高単価製品のラインナップ拡充拡販に注力することで、売上高は79億29百万円（前年同期比0.0%増）となりました。

化粧品・雑貨事業は、「ささやかな、幸せ感の創出」小さな感動が溢れる雑貨店を目指し、アプライドグループ運営の「ひな農園」・「とわガーデン」と連携し、会員サービスの充実を図り、卸売り販売が増加したことで、売上高は30億3百万円（前年同期比75.2%増）となりました。

出版・広告事業は、「県内ダントツの情報発信基地」を目指し、広告媒体の多様化・デジタル化が進むなか、ホームページ制作・SNS運用代行・動画制作等、デジタルプロモーション事業の取り組みを強化し、誌面・Web・イベントを組み合わせたクロスメディア展開による差別化を進め、地方自治体向けプロポーザル案件獲得に注力することで、売上高は80百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億81百万円減少し、217億94百万円となりました。これは主に、棚卸資産が12億10百万円増加し、建物及び構築物が3億67百万円増加し、現金及び預金が9億33百万円減少し、売掛金が7億76百万円減少したためです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ4億9百万円減少し、76億58百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億6百万円増加し、未払法人税等が6億7百万円減少したためです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ2億28百万円増加し、141億36百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益4億40百万円等により利益剰余金が2億24百万円増加したためです。この結果、自己資本比率は、64.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和8年5月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和8年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和8年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,478	5,544
電子記録債権	26	33
売掛金	6,592	5,815
有価証券	1,000	1,000
棚卸資産	1,628	2,838
その他	114	298
貸倒引当金	△54	△54
流動資産合計	15,786	15,478
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,393	2,761
土地	2,366	2,366
建設仮勘定	243	7
その他（純額）	187	222
有形固定資産合計	5,191	5,358
無形固定資産	12	12
投資その他の資産		
敷金及び保証金	517	511
その他	468	434
投資その他の資産合計	985	945
固定資産合計	6,189	6,316
資産合計	21,976	21,794

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和8年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和8年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,148	3,255
未払法人税等	818	210
契約負債	2,747	2,779
賞与引当金	234	129
その他	709	875
流動負債合計	7,657	7,248
固定負債		
長期未払金	402	402
その他	8	7
固定負債合計	410	409
負債合計	8,068	7,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	909	909
利益剰余金	12,494	12,719
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,785	14,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	3
その他の包括利益累計額合計	2	3
非支配株主持分	120	122
純資産合計	13,908	14,136
負債純資産合計	21,976	21,794

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
売上高	9,712	11,002
売上原価	7,293	8,429
売上総利益	2,418	2,572
販売費及び一般管理費	1,851	1,926
営業利益	566	645
営業外収益		
受取利息	1	4
有価証券利息	-	1
為替差益	1	-
受取手数料	1	1
受取賃貸料	3	3
協賛金収入	0	3
その他	0	0
営業外収益合計	8	14
営業外費用		
支払利息	1	-
為替差損	-	0
その他	0	0
営業外費用合計	1	0
経常利益	574	659
税金等調整前四半期純利益	574	659
法人税、住民税及び事業税	144	183
法人税等調整額	31	33
法人税等合計	176	217
四半期純利益	398	442
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	396	440

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
四半期純利益	398	442
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
その他の包括利益合計	0	1
四半期包括利益	398	444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	396	442
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	パソコン・ ゲーム事業	化粧品・ 雑貨事業	出版・ 広告事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,925	1,714	72	9,712	-	9,712
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	-	7	9	△9	-
計	7,927	1,714	79	9,721	△9	9,712
セグメント利益又は損失(△)	523	△8	7	522	43	566

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去43百万円であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	パソコン・ ゲーム事業	化粧品・ 雑貨事業	出版・ 広告事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,927	3,003	71	11,002	-	11,002
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	-	8	10	△10	-
計	7,929	3,003	80	11,012	△10	11,002
セグメント利益又は損失(△)	608	△12	6	602	43	645

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去43百万円であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和8年4月1日 至 令和8年6月30日)
減価償却費	47百万円	55百万円